



みどり市【群馬県】 地域文化財総合整備計画



■ 策定年度：平成21年3月 ■ 人口：50,031人 ■ 面積：208km²
■ 担当課：みどり市教育部文化財課（平成30年3月現在）

みどり市の自然環境や、岩宿遺跡や西鹿田中島遺跡にはじまり現代につながる歴史的な環境から何が文化遺産であるかを明らかにする。明らかにされた文化遺産を整理し、その詳細及び全体像を明らかにする。現代の生活に活用を図り、豊かな自然と歴史と文化にあふれるまちづくりに寄与するために計画した。

5 歴史文化を表す
つのキーワード

西鹿田中島遺跡、銅山街道とわたらせ渓谷鐵道、
大間々市街地の町並み、彫刻師、岩宿遺跡

課題

- ・文化財を学ぶ場の提供
- ・文化的活動の場の提供
- ・観光への活用
- ・文化財ネットワークの構築と展開

保存活用方針

- ・地域の核となる文化財の保存整備
- ・地域内の文化財のネットワーク化
- ・地域間文化財のネットワーク化
- ・教育的な観光資源としての展開

保存活用のための取り組み

岩宿博物館を核とした岩宿遺跡 の保存活用

岩宿遺跡はわが国において旧石器時代の存在が証明された遺跡として史跡指定を受けている。岩宿博物館は、岩宿遺跡の博物館として、また日本の旧石器時代の情報発信基地として、ユニークな体験学習や各種講座を実施している。これら博物館活動は友の会との共働により実施され、注目を集めている。



わたらせ渓谷鐵道の鉄道遺産の 登録有形文化財登録の推進

足尾銅山の銅を輸送するため敷設され、創業当時の駅舎・橋梁・トンネルなどの鉄道遺産が現役で稼働している。沿線自治体と共同で2県3市にまたがる鉄道遺産の登録を行った。沿線観光の推進と足尾銅山の世界遺産登録推進への役割も期待される。



史跡西鹿田中島遺跡の保存整備 と活用

旧石器時代と縄文時代の過渡期の代表的な遺跡として指定を受けた西鹿田中島遺跡の保存整備を実施した。整備にあたっては地元との学習会や史跡の保存整備先進地見学会を通じ、保存活用の機運を醸成した。今後、岩宿遺跡とのハード面や人的交流などの連携に取り組んでいく。



文化財ネットワークの展開

岩宿遺跡（岩宿博物館）・西鹿田中島遺跡・在郷町大間々町市街地の中央にある大間々博物館（旧大間々銀行）など各地域の拠点となる文化財を核に、市内に点在する文化財を有機的に連動させ、市内においては学校教育や生涯学習の場として、対外的には文化財をめぐるルートの開発など観光視点として展開する。



みどり市文化財ネットワーク



市内の特筆される文化財は、第1に旧石器時代の岩宿遺跡と縄文時代草創期の西鹿田中島遺跡である。これらを核に旧石器から縄文へ」をキーワードに市民を巻き込んだ文化財の保存と活用を進める。また、市全体を通して歴史的かつ文化的な象徴は、足尾銅山街道や旧足尾鉄道に代表される渡良瀬川流域に展開した「ヒトとモノの往来」である。この地域の文化財の周知や掘り起こしを通じて文化財の保護と活用の気運を高めていく。

ストーリー

- ① 旧石器時代から縄文へ
- ② 古代工場団地の成立
- ③ 中世の石材産業（天神山）
- ④ 戦国の道と中世城館
- ⑤ 足尾銅山街道の整備と新田開発
- ⑥ 銅山街道のにぎわいと在郷町の発展
- ⑦ 「江戸の華」寺社彫刻師の里 黒川谷
- ⑧ 第2の銅山街道 足尾鉄道の敷設
- ⑨ 森林資源と材木商の町
- ⑩ 沢入みかげと銀座の石畳

策定後の成果（見込まれる効果）

① 西鹿田中島遺跡保存整備の実施

縄文時代草創期の集落跡の遺跡としては、全国でも先駆的な整備事例となった。住居跡や土坑の復元工事のほか、修景のため当時の有用な植物を植栽し、植生復元や今後古代料理を行うときにも活用していく。地元で「西鹿田中島遺跡友の会」も組織され、行政と協働した保存活用をめざしていく。



② 岩宿遺跡の保存活用の推進

旧石器時代の発掘調査地点を含む約19haの史跡の大半が山林となっており、学習のための来訪者のほか、市民の散策の場となっている。平成29年に史跡が一部追加指定を受けたことにより、保存活用計画の策定を進めている。今後、学習のための来訪者と市民とが史跡全体を周回するなかで、岩宿遺跡が持つ意義を理解してもらえる方法を検討していく。



③ 大間々町市街地の重伝建選定推進

近世初期に開発され、銅山街道の整備とともに生糸市場が立ち発展した。明治中期から昭和前期の建造物群が多く残り、往時のにぎわいの姿をとどめている。3件の登録有形文化財のほか、背後の足尾山地を背景とした材木商が点在しており、近隣の桐生新町とは異なった町並みの発展の形態を残している。町並みの保存と活用の気運を高め重伝建選定をめざしている。

